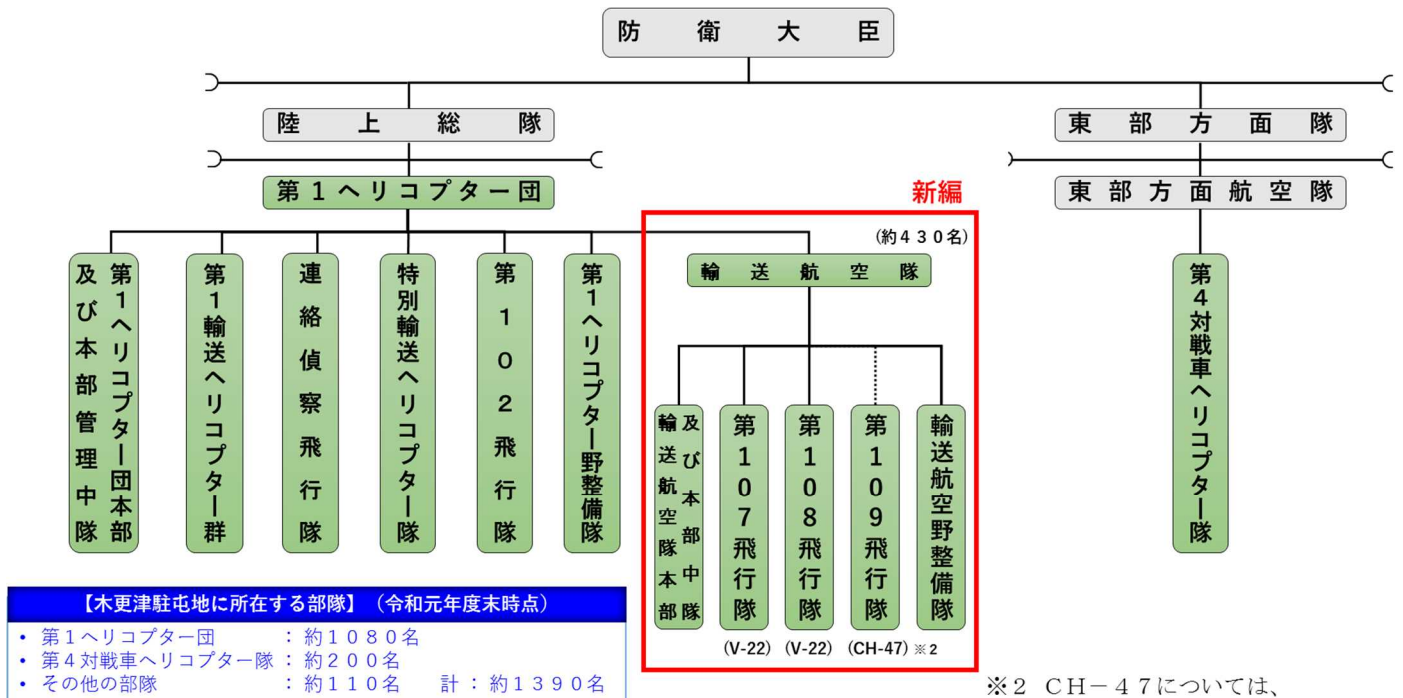


輸送航空隊の新編について

- 防衛省においては、島嶼部に対する攻撃への対応を念頭に、迅速かつ大規模な輸送・展開能力を確保し、実効的な対処能力の向上を図るため、陸上自衛隊の輸送ヘリコプター（CH-47）の輸送能力を巡航速度や航続距離等の観点から補完・強化し得るV-22オスプレイを順次導入中。
- 陸上自衛隊V-22オスプレイについては、相浦駐屯地（長崎県佐世保市）に配備している陸上自衛隊水陸機動団との一体的な運用を確保する等の観点から、佐賀空港を最適な候補地としているところ、島嶼防衛態勢の早期の確立のため、令和元年度末に、木更津駐屯地（千葉県木更津市）にV-22オスプレイ（※1）を運用する輸送航空隊を新編。
- 今回の部隊改編に伴い、木更津駐屯地の定員は約1,050人（平成30年度末）から約1,390人（令和元年度末）となる予定。

※1 最初の機体（2機）の我が国への輸送は、現時点で本年6～7月頃を見込んでいる。



※2 CH-47については、高遊原分屯地（熊本県）に配置。